

因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏 連携事業進捗状況調書

コロナ対応状況について		
A：コロナ禍により中止、影響が大きい	22	
B：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	30	A→Bに変更：4事業 C→Aに変更：2事業
C：コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	19	B→Cに変更：2事業 C→Bに変更：3事業
D：計画どおり実施、もしくは実施見込み	17	C→Dに変更：1事業
その他	2	

太線枠は、コロナ対応状況について9月末時点の報告から取組が好転したもの。
 (B→Cに変更など)

点線枠は、コロナ対応状況について9月末時点の報告から取組への影響が大きくなった・悪化したもの。
 (C→Bに変更など)

麒麟のまち創生戦略会議

令和3年2月16日

ア 圏域全体の経済成長のけん引

No.	事業名	事業概要	実績	コロナ対応状況	K P I				
					指標 (単位)	基準値 (H28)	目標値 (R2)	12月末現在値	R2年度末見込
1	ビジネスサポート体制検討事業	圏域全体の起業支援、産業育成のためのビジネスサポート体制の検討を進める。	<p>【鳥取市】ビジネス課題を有する企業に、外国人留学生等の受入れを実施し、課題研究を行う「外国人留学生就労支援事業」を実施していたが、新型コロナウイルスの影響により、インターンシップでの外国人留学生等の受入れは実施できなかった。影響が落ち着き、受入れを実施できる環境になった際に備え、インターネットを使用した本事業の周知活動を実施した。</p> <p>外国人留学生地域就労支援事業・・・高い語学力や優れた国際感覚を有する外国人留学生に、圏域の経済成長を担う貴重な人材として定着・活躍してもらうことで、企業の国際競争力の強化や、新たな市場開拓・取引機会となる海外展開を促進。圏域の事業者と外国人留学生に対して準備セミナーや補助金支給などの伴走型支援を行う。</p> <p>【八頭町】起業機運醸成セミナー…開催について検討中。</p> <p>【若桜町】企業誘致環境及び企業内コミュニケーションの向上を図るため、外国人就労者を雇用する事業者に対し、日本語講座・日本語検定にかかる費用を助成。→新型コロナウイルスの影響により、外国人就労者が入国できず、未実施。</p>	B: コロナ対応をしながら一部のみの実施、影響は中程度	ビジネス課題事例研究数 (件)	0	4	0	0
2	起業・創業支援事業	民間の創業支援事業者 (地域金融機関、NPO法人、商工会議所・商工会等) と連携し、ワンストップ相談窓口の設置、創業セミナーの開催、チャレンジショップ事業等の創業支援を実施する。	<p>【鳥取市】鳥取県東部圏域の自治体・民間事業者で連携して創業支援等事業を行った。まちづくり融資～リノベーション創業型～、リノベーション型まちづくりファンドによる投資により、まちづくり事業に対する支援を行う。</p> <p>R2.12月末現在 まちづくり融資活用 2件 まちづくりファンド活用 1件</p> <p>【岩美町】岩美町商工会と連携して創業者に対する事業計画策定支援、創業補助金の交付を行った。R2.12月末実績50万円×2件</p> <p>【若桜町】新規創業・開業支援補助 H29:2件200万円 H30:2件200万 R1:3件295万円R2:4件311万円</p> <p>【智頭町】新規創業・開業支援 R2.12月末実績 50万円×2件</p> <p>【八頭町】起業機運醸成セミナーにおける講演会 0回 起業家支援補助金交付申請数 1件</p> <p>【香美町】香美町商工会と連携して創業支援セミナーを開催 (年5回) し企業者に対しての補助金を交付する50万円/1件</p> <p>【新温泉町】・創業セミナー 8/20～9/17 全5回実施 ・ワンストップ相談窓口 新温泉町商工会 (通年実施)、 サンシーホール浜坂 (毎週木曜日) で実施 ・起業補助金</p>	D: 計画どおり実施、もしくは実施見込み	創業者数 (人)	113	115	56	118
3	圏域内の事業者に向けたセミナー開催事業	圏域全体の事業者を対象に、生産性向上、販路開拓、ワーク・ライフ・バランスなどをさまざまなテーマで経営改善等につながるセミナーを開催する。	<p>【鳥取市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●若手社員職場定着促進事業研修 令和2年10月19日, 20日, 11月19日, 20日, 12月3・4日 19人 (若手10・中堅9) ●人材確保促進事業セミナー 令和2年10月13日 21人 (八頭1) ●働き方改革セミナー 令和2年12月15日 10人 (八頭1) ●中小企業大学校サテライトゼミ 本年度は中止 <p>【岩美町】コロナ対策セミナー 令和2年10月14日開催16名、11月11日開催11名 合計27名参加</p> <p>【香美町】ワーク・ライフバランスの推進により働きやすい職場環境を創出しようとする企業へのセミナー経費等の支援を予定</p>	C: コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	セミナー参加者数 (人)	75	122	74	75
4	地域商社活用事業	営業力や受発注・決済機能・物流機能、コンサルティング機能を持ち、既存商品・製品に加え市場化されずに眠る有望な地域資源を圏域外へ販路開拓・拡大することを目的とした商社事業を展開する。	<p>■圏域の農水産物や食品加工品を中心に圏域外への販路開拓と販売を行う商品流通事業を行ったが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響に伴い、県外への出張を大幅に制限。ウェブによる商談を活用するほか、実働においても、圏域産品の有力な受入先となりうる小売事業者を選択の上、集中的に商談を重ねた。</p> <p>■地域事業者と共同して新商品の開発や既存商品のリニューアル、パッケージング開発などを行う商品開発事業を行った。企画にあたっては、付加価値のある商品として持続的な将来展望が描けることを主眼に置いた。</p> <p>■最新デバイスを活用し実証実験を実施。また、デモンストレーションを通じて農家へ普及啓発を行った。また、従来実施していたセミナーに関しては、世情を鑑み、集合でのセミナーではなく、個別に農家訪問する形にて情報提供活動を行った。</p>	B: コロナ対応をしながら一部のみの実施、影響は中程度	新規取引業者数 (生産団体も含む)	10	23	16	23
5	関西事務所運営事業	関西事務所に職員を配置し、鳥取県関西本部などとの連携を図りながら、関西圏や中四国、中京圏域などにおいて、鳥取・因幡圏域の広報宣伝活動や企業訪問等を実施する。	<p>関西事務所において、企業誘致推進、観光情報発信における企業訪問を行った。</p> <p>【鳥取市】77件 (令和2年度 (12月28日現在) : 企業誘致訪問73件+観光情報発信4件)</p> <p>【八頭町】44件 (令和2年度 (R3.1月6日現在) : 企業誘致訪問1件+観光情報発信43件)</p>	B: コロナ対応をしながら一部のみの実施、影響は中程度	企業訪問件数 (件)	60	70	121	150
6	広域的道路網整備促進事業	関係市町と連携し、圏域内の山陰近畿自動車道の未整備区間の早期整備、鳥取自動車道及び山陰自動車道の4車線化等を促進するため、関係機関に対する要望活動、啓発活動及び道路整備の際の環境整備を積極的に実施する。	<p>6月12日 道路関係3期成会総会 ※新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、書面開催</p> <p>7月 6日 鳥取河川国道事務所・倉吉河川国道事務所への要望活動</p> <p>7月20日 中国地方整備局への要望活動 (広島) ※新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、郵送実施</p> <p>10月8日 美作岡山道路延伸についての国土交通省への要望活動 (東京) ※新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、郵送実施</p> <p>10月14日 国土交通省、財務省、地元選出国會議員への要望活動 (東京) ※新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、郵送実施</p> <p>●連携による効果・成果 要望活動の実施等により道路整備が推進された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月8日 山陰近畿自動車道 鳥取～覚寺間の都市計画素案が国土交通省から鳥取県へ提出され、都市計画決定に向けた手続きに着手 ・6月27日 鳥取自動車道智頭10付近の付加車線が開通 	B: コロナ対応をしながら一部のみの実施、影響は中程度	要望活動数 (回)	4	6	6	6

No.	事業名	事業概要	実績	コロナ 対応状況	K P I				
					指標 (単位)	基準値 (H28)	目標値 (R2)	12月末現在値	R2年度末見込
7	森林保全推進事業	作業道の整備や間伐の促進、竹林の間伐等により、健全な森づくりを推進する。	<p>【鳥取市】作業道の整備や間伐の促進、竹林の間伐等に要する経費を支援中 作業道開設L=63,926m, 林業用専用道開設L=600m, 間伐面積A=407.36ha 【岩美町】作業道の整備や間伐等に要する経費を支援(令和3年3月に事業主体へ補助金交付) 【若桜町】作業道開設 L=14,332m, 間伐面積 A=98.82ha 【智頭町】作業道開設10,495m, 間伐面積21.74ha 【八頭町】作業道整備6,532m, 間伐面積45.56ha 【新温泉町】作業道開設7,000m, 切捨間伐 32ha, 利用間伐 50ha 【香美町】作業道開設補助8,000m 条件不利地間伐44ha</p>	D: 計画どおり実施、もしくは実施見込み	鳥取・因幡圏域の間伐面積 (ha)	1,416	1,737	275	945
8	林業従事者支援事業	移住希望者等へ情報発信を行うとともに、林業労働者の確保及び就労条件の改善を図るための支援を行う。	<p>【鳥取市】林業労働者の雇用条件の改善に努め、担い手育成を促進するため、雇用開始から5年目までの市内在住の林業労働者に係る健康保険、雇用年金の事業主負担に対し、経費の一部を助成した。(県: 1/4、市: 1/4) 【岩美町】公益財団法人鳥取県担い手育成財団へ共済年金掛金、年末一時金支給の一部を助成。 【若桜町】林業労働者の確保及び就労条件の改善を図るため、社会保険掛金等経費を助成。また、大学生等が借り入れた奨学金の返還額の一部を町助成。その他、林業労働者福祉向上推進事業による市町村負担分を負担。 【智頭町】林業労働者の雇用条件の改善を図るため、健康保険料及び厚生年金の一部を支援する。 【八頭町】○鳥取県森林整備担い手育成総合対策事業費補助金(雇用条件改善事業(社会保険料掛金助成事業))により、町内在住の林業労働者(雇用開始から5年以内)の負担する健康保険料及び厚生年金を補助する。現在事業実施中であり、3月に補助対象者6名に対し、930千円を補助する見込。 ○林業労働者福祉推進事業費補助金による市町村負担分を負担し、林業労働者の確保及び就労条件の改善に寄与する。</p>	D: 計画どおり実施、もしくは実施見込み	林業労働者雇用条件改善事業実施者数(各年毎健康保険・農林年金への補助者数)(人)	43	42	37	39
9	稚貝・稚魚放流事業	内水面や沿岸における稚貝や稚魚の放流や資源管理を図る。	<p>【鳥取市】・内水面漁業協同組合等が行う稚魚放流に要する経費を支援した。(放流量4.11t) ・沿岸漁協が行う放流支援を実施中 【岩美町】稚貝・稚魚の放流 アワビ 27,000個、サザエ 17,000個、キジハタ 6,182尾 【若桜町】ヤマメ稚魚約3,000匹・イワナ稚魚約2,800匹を11月上旬に放流。 【八頭町】ヤマメ稚魚約3,000尾の放流を行った。 【香美町】内水面事業=アユ1,100kg 海水面=クロアワビ12,000個、アワビ20,000個、ヒラメ100,000尾 【新温泉町】内水面事業=鮎稚魚500kg、ウナギ稚魚10kg 海水面=クロアワビ8,500個、カサゴ5,000尾、ヒラメ100,000尾、マダイ200,000尾、キジハタ放流1,000尾 放流</p>	D: 計画どおり実施、もしくは実施見込み	放流量(トン)	7	6	6	7
10	漁業雇用促進対策事業	移住希望者等へ情報発信を行うとともに、漁労技術の習得研修や漁業への就業支援を行い、就業者確保を図る。	<p>【鳥取市】鳥取県漁業協同組合等が海面漁業への就業を希望する者に対して行う漁労技術等の習得研修に要する経費を支援中。(雇用型1名、独立型2名) 【岩美町】研修生(沖合底びき網漁業及び定置網漁業 雇用型: 8名、独立型: 1名) * 1月以上研修を実施した者の数 【新温泉町】R2年度研修中止</p>	B: コロナ対応をしながら一部のみの実施、影響は中程度	研修実施者数(人)	52	52	12	12
11	特産品生産促進支援事業	白ネギの特産化を図るため、東部圏域で行う生産・販路拡大に対して支援する。	<p>【鳥取市】鳥取いなば農協が作成した「いなば白ねぎ増産プラン」に基づき、面積拡大に取り組んだ。みんなでやらいや農業支援事業(がんばる農家プラン)により、苗代、技術対策費、販売対策費、機械導入等へ助成。 【若桜町】鳥取いなば農業協同組合が事業実施主体とする「白ねぎ増産プラン」に係る支援補助(159千円)</p>	D: 計画どおり実施、もしくは実施見込み	白ネギの作付面積 (ha)	60	70	49	49
12	農産物販路拡大支援事業	農産物の新たな販路強化・拡大を行い、圏域農産物の販売促進を図る。	<p>鳥取市では、毎月第2・4金曜日土曜日に大阪市中之島で農産物や加工品を対面販売する「グリーンマーケット」を開催し、麒麟のまち圏域の農産物の委託販売も実施。→新型コロナウイルス感染症の影響で休止しており、その代替措置として、従前のグリーンマーケットの顧客等に対して農産物や加工品を宅配便(イチゴ、梨など)として配送。 麒麟のまち特産品商談会を関西圏で開催。→新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっているが、(株)地域商社とつとりが個別に取引先等を訪問して商談(野菜、果樹)を実施している。(WEB商談は未実施)</p>	A: コロナ禍により中止、影響が大きい	関西圏での合同直販市の開催(回)	1	2	0	0

No.	事業名	事業概要	実績	コロナ 対応状況	K P I				
					指標 (単位)	基準値 (H28)	目標値 (R2)	12月末現在値	R2年度末見込
13	地域おこし協力隊導入事業	三大都市圏から地域おこし協力隊員を招致し、地域活性化に係る諸課題の解決と後継者確保対策を推進する。また、隊員のネットワーク促進など隊員の活動充実に向け、圏域情報の共有と連携を推進する。	【鳥取市】吉岡温泉地区活性化(1名) 中心市街地活性化担当(1名)、用瀬地域の伝統行事の後継・育成(1名)、河原町西郷地区文化芸術活動を通じた活性化(1名)を配置 【智頭町】5名の地域おこし協力隊を配置。自然栽培(1名) 原木椎茸(1名) 林業(2名) 獣害対策(1名) 【八頭町】道の駅はつとうにおける特産品販売、振興(1名) 【岩美町】きなんせ岩美(1名) 【若桜町】鳥獣対策部門(1名)、農林業振興部門(1名) 今後予定-農業振興(1名) 【香美町】高校支援教育コーディネーター(1名)、観光情報発信推進(1名)、木の駅プロジェクト(1名)、但馬高原植物園活性化推進(1名)、移住就活コーディネーター(1名)を配置 【新温泉町】但馬牛生産振興担当(2名)、道の駅事業推進(1名)、移住定住促進担当(1名)、観光振興支援(2名) 温泉振興(温泉活用)(1名) 温泉振興(店舗運営)(2名)、地産地消推進(1名)を配置 今後予定-温泉振興(温泉活用・店舗運営)(2名) 地域振興(1名) 道の駅運営補助(2名) 水産振興(1名) 但馬牛生産振興(1名) ※情報交換会の実施を検討していたがコロナ禍の中実施できていない。今後は、オンライン(ビデオ会議)などを活用して情報交換会の開催を検討している。これにより、圏域内隊員のネットワーク化の支援と情報共有の促進を図っていききたい。	D:計画どおり実施、もしくは実施見込み	地域おこし協力隊配置数(人)	43	40	28	36
14	農業担い手育成塾運営事業	鳥取・但馬圏域内の新規就農者及び関係団体等で構成する(仮称)「麒麟のまち・みらい農業ねっとわーく」を創設し、以下の事業を実施する。 (1)情報共有(携帯メール配信等) (2)研修・情報交換会の開催(座学研修、圃場研修、事例発表等)	○圏域農業者対象の研修(スマート農業セミナー)の開催。 新しい農業経営の一つのあり方を示し生産意欲の向上を図る。 →新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ○各町の農業担当部局を通じ、上記セミナーの開催を各町の新規就農者へPRを実施。 →新型コロナウイルス感染症の影響により中止 今後、圏域の新規就農者、認定農業者などの若手を中心に、オンライン上でのネットワーク構築に向けた情報交換や研修などを行う場の創設などの検討を始めてみたい。	A:コロナ禍により中止、影響が大きい	登録会員数(人)	0	85	0	0
15	農業IT化促進事業	鳥取・但馬圏内の自治体及び農商工関係団体等で構成する(仮称)「麒麟のまち・スマート農業推進会議」を創設し、以下の事業を実施する。 (1)情報収集・発信(メール配信等) (2)研修・情報交換会の開催(座学・圃場研修、事例研究等)	○圏域農業者対象の研修(スマート農業セミナー)の開催。 新しい農業経営の一つのあり方を示し生産意欲の向上を図る。 →新型コロナウイルス感染症の影響により中止	A:コロナ禍により中止、影響が大きい	研修会延べ参加者数(人)	0	110	0	0
16	麒麟獅子舞を生かした圏域活性化事業	日本遺産の認定により、圏域に受け継がれる麒麟獅子舞の魅力を情報発信、普及啓発し、圏域の活性化につなげるとともに、保存会等とも連携を図り、麒麟獅子舞の次世代への保存・継承を図る。 ・麒麟のまち連携コンセプト等について域内住民への浸透を図る ・博物館や展示施設での麒麟獅子関係巡回展の実施 ・その他麒麟獅子舞の情報発信、普及啓発につながる各種取組の実施	【日本遺産「麒麟のまち」推進協議会事業】 ○情報発信:ホームページ制作(麒麟獅子例祭の暦:多言語化) プロモーション映像制作、 VR動画コンテンツ制作(多言語化) インバウンド向けプロモーション活動 ○人材育成:日本遺産ガイド育成事業 (麒麟のまち日本遺産塾の実施) 小学生向け日本遺産漫画ストーリー一本製作 ○普及啓発:麒麟獅子舞の観光体験プログラム化事業 ※各市町の各種イベントなどでの麒麟獅子舞の演舞 ○その他:麒麟獅子をモチーフにしたラッピングポスターの制作・設置、 幟旗の作成(香美町)	C:コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	圏域への観光入込客数(人)	4,764,000	7,450,000	R2.12月末見込み3,193千人 R2年度末見込み 4,257千人 ※R1実績値 6,580千人×前年比64.7% =4,257千人 (前年比はR元とR2の4~12月の入込実績を比較)	
17	麒麟のまち関西情報発信拠点での情報発信等エリアプロモーション推進事業	麒麟のまち関西情報発信拠点において、麒麟のまち圏域での広域連携によるエリアプロモーション事業を展開し、交流人口の増加、移住定住の促進、地元産品の販路拡大を図る。また、マスコミ・メディアの本社が集中する首都圏において、各種情報の発信を行い、圏域の認知度アップ、イメージアップを図る。	【鳥取市】 新型コロナウイルス感染症の予防対策として、4月8日~5月31日の間完全休業。6月以降、時間短縮・土日祝休業などの措置を行っている。 ・とっとり旬菜マルシェ(旬の農産物・加工品の宅配事業) 毎月1回(7月~) ・麒麟のまちアートワークショップ 毎月1回(7月~) ・ジオパークPR企画(ジオパークの景色を店内及び外壁のモニターディスプレイで紹介) ・「麒麟のまちプレゼントキャンペーン」9月~11月(梨、柿、足ぶくろ) ・「麒麟のまち地酒キャンペーン」12月~2月 【新温泉町】新温泉町観光大使のつどい(10月21日) ※中止	B:コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	圏域への観光入込客数(人)	4,764,000	7,450,000	R2.12月末見込み3,193千人 R2年度末見込み 4,257千人 ※R1実績値 6,580千人×前年比64.7% =4,257千人 (前年比はR元とR2の4~12月の入込実績を比較)	
18	インターネットショップ推進事業	圏域内の物産のイメージアップやブランド化のため鳥取市が運営するインターネットショップ「とっとり市(いち)」への出店を麒麟のまち圏域に拡大し、圏域一体となった物産の振興を図る。	「とっとり市(いち)」関連規約を変更し、麒麟のまち圏域からの出店および生産された商品の取扱いを可能とした。 9月末現在で鳥取市域を除く同圏域から、8店舗(100商品)の出店があった。	C:コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	出店店舗数(店)	110	141	144	147
19	駅前太平線バード・ハット利用促進事業	麒麟のまち圏域内各市町の地域振興に関わるイベント(行政系)等をバード・ハットで開催する際は使用料を免除し、交流人口の増加を図る。	●開催実績(来場者数) 【R2.11月】 パープルライトアップ点灯式(約20人):鳥取市(男女共同参画課) 【R2.12月】 麒麟のまち HOLIDAY market(約800人):麒麟のまち圏域各市町	B:コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	利用回数(回)	0	2	2	2

No.	事業名	事業概要	実績	コロナ対応状況	K P I				
					指標 (単位)	基準値 (H28)	目標値 (R2)	12月末現在値	R2年度末見込
20	地域連携DMO「一般社団法人麒麟のまち観光局」支援事業	地域連携DMO「一般社団法人麒麟のまち観光局」が行う鳥取・因幡圏域の観光素材の開発・普及及び県内外への観光広報宣伝活動の実施を支援する。 ※鳥取県東部・兵庫県北但西部1市6町のDMO設立による拡充	<ul style="list-style-type: none"> ●「麒麟のまち観光圏」ブランディングに係るマネジメント 観光庁が選定する「重点支援DMO」に申請し、8月に採択。 圏域の新たな観光販売戦略の策定に向け、各自治体・観光協会との意見交換会やワークショップを開催し、その中核となる鳥取市観光販売戦略を策定した。今後6町の戦略策定を進め、圏域全体へと拡げる予定。 ●観光ビジネスインフラの整備 会員等に対し新型コロナウイルス感染症対策意識調査Webアンケートを実施。コロナ禍における事業者の現状把握を進めた。 ●マーケティング 旅行者の観光ニーズや動向を把握するため、圏域内の統一的なアンケートの構築にむけ、事業者へヒアリングを実施。 圏域主要観光拠点（年間入込客数10万人超を目安）に性別年齢別自動判定カメラ、入込自動集計センサーを設置、9月からデータ収集開始。 ●観光コンテンツ開発・販路開拓 圏域内の体験商品を新たに開発・集約（現在172件）。集約した商品を精査し、Web販売サイト「asoview!」に掲載予定。 松葉がにを活用した個人旅行、教育旅行コンテンツ造成のためのモニターツアー実施。 ●圏域内の情報収集・発信、その他 令和元年10月にリニューアルした麒麟のまち観光局公式Webサイトを管理・運営し、圏域のリアルタイムな情報を発信。 日本郵便との間で観光に関する包括的連携協定を締結。 	B：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	圏域への観光入込客数 (人)	4,764,000	7,450,000	R2.12月末見込み3,193千人 R2年度末見込み 4,257千人 ※R1実績値 6,580千人×前年比64.7% =4,257千人 (前年比はR元とR2の4～12月の入込実績を比較)	
21	国道29号周辺兵庫・鳥取地域振興協議会支援事業	各市町が連携し、国道29号周辺地域の活性化のための情報発信やイベントの開催、沿線整備を行う。 ※日本風景街道新因幡ライン事業の実施に伴う拡充	<ul style="list-style-type: none"> ●令和2年6月4日に国道29号周辺兵庫・鳥取地域振興協議会総会（書面決議）承認 ●夢街道ルネサンス「銀山街道赤名宿」との連帯、 ・視察交流研修（令和2年8月28日～29日） ●地元民御用達所三十六景第三巻の作成（令和2年7月～） ●AR動画配信による認知度向上キャンペーンの実施 ・動画配信期間（令和2年8月7日～令和3年3月31日） ・プレゼントキャンペーン期間（令和2年10月1日～12月31日） ●PRプラントナーによる花苗び植栽（通年） ●鳥取R29フォトキャラバンの開催 （令和2年10月24日鳥取市、11月15日八頭町・若桜町） ●令和2年11月13日に国道29号周辺兵庫・鳥取地域振興協議会臨時総会（書面決議）承認 ●スキー場と道の駅等が連携した福福キャンペーン （令和2年12月下旬～令和3年3月末） ●ニクロード推進事業 ①沿線のジビエ等をPRするイイニク感謝祭（令和2年11月28日～29日） ②沿線の牛豚鳥やジビエ料理店などをめぐるスタンプラリー（令和2年12月25日～令和3年2月19日） ●FM山陰での情報発信（令和2年2月初旬予定） ・ステーションらんでぶ～（鳥取市） ・GO-!EVENING!（若桜町） 	B：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	圏域への観光入込客数 (人)	4,764,000	7,450,000	R2.12月末見込み3,193千人 R2年度末見込み 4,257千人 ※R1実績値 6,580千人×前年比64.7% =4,257千人 (前年比はR元とR2の4～12月の入込実績を比較)	
22	鳥取自動車道活性化協議会支援事業	鳥取自動車道活性化協議会が行う因幡連携事業やフォトコンテストなどのPR事業を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ●鳥取自動車道沿線エリアを対象としたフォトコンテストの開催 期間：令和2年8月11日～令和3年1月29日 ●情報発信事業 ・公式Facebookページの運営・情報発信。 ・新たにInstagramページを開設。 	B：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	圏域への観光入込客数 (人)	4,764,000	7,450,000	R2.12月末見込み3,193千人 R2年度末見込み 4,257千人 ※R1実績値 6,580千人×前年比64.7% =4,257千人 (前年比はR元とR2の4～12月の入込実績を比較)	
23	外国人観光客受入事業	各市町が連携し、外国人観光客の受け入れを促進する。	<ul style="list-style-type: none"> ●台湾でのプロモーションの実施 ・Facebookでの情報発信 ・女性向けメディアでの記事掲載 ・鳥取市観光セミナーの開催 ・鳥取市観光情報PRホームページの作成 ●国際観光客サポートセンター運営 ・外国人観光客案内所として、英・中・韓スタッフ5名を配置 ●受入環境の整備 ・モバイルWi-Fiルーターの無料貸出 ●旅行商品の造成 ・欧米豪羽田―鳥取便外国人観光客格安旅行商品の造成 ●外国人観光客受入環境整備支援事業補助金の交付 ・申請件数4件 	A：コロナ禍により中止、影響が大きい	国際観光客サポートセンターの利用者数 (人)	10,000	12,000	392 (11月末現在)	500

No.	事業名	事業概要	実績	コロナ対応状況	K P I				
					指標（単位）	基準値（H28）	目標値（R2）	12月末現在値	R2年度末見込
24	因幡・北但西部周遊バス運行支援事業	因幡・北但西部圏域を周遊するバスツアーの企画及び運行の支援を行う。 ※既存コースの見直しと新規コースの開発による拡充	<ul style="list-style-type: none"> ●鳥取・因幡を周遊するバスツアー <ul style="list-style-type: none"> ・ジオコース（鳥取砂丘・浦富海岸） 新型コロナウイルス感染症により催行中止 ・南コース 新型コロナウイルス感染症により催行中止 	A：コロナ禍により中止、影響が大きい	圏域への観光入込客数（人）	4,764,000	7,450,000	R2.12月末見込み3,193千人 R2年度末見込み 4,257千人 ※R1実績値 6,580千人×前年比64.7% =4,257千人 （前年比はR元とR2の4～12月の入込実績を比較）	
25	浦富海岸・鳥取砂丘エリア観光二次交通運行協議会支援事業	浦富海岸及び鳥取砂丘エリアを観光周遊するボンネットバスの運行の支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ※全コース運行中止 ●バス愛好家さんこだわりコース（定員20名） 岩美町の写真スポットを巡るコース。 海岸や展望台、瑞風の停車駅東浜駅などに立ち寄る。 ●アニメの世界へようこそコース（定員20名） 人気アニメのロケ参考地を巡るコース。 ●岩美の夏食べつくしコース（定員20名） 岩美町の観光地を巡り、特産品を食べ歩くコース。 	A：コロナ禍により中止、影響が大きい	圏域への観光入込客数（人）	4,764,000	7,450,000	R2.12月末見込み3,193千人 R2年度末見込み 4,257千人 ※R1実績値 6,580千人×前年比64.7% =4,257千人 （前年比はR元とR2の4～12月の入込実績を比較）	
26	山陰海岸ジオパークを活用した広域観光推進事業	フォーラム、研修会等の開催、案内看板の設置、リーフレットの作成等を行い、山陰海岸ジオパークの普及・啓発を行う。また、ジオガイド研修会等を開催し、ジオガイドの養成を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ●山陰海岸ジオパークの見どころをPRするまるごと体感マップ、ジオパークリーフレット、散策モデルコース等の作成。ジオサイトに設置された案内看板の整備。ジオガイド研修会ではSDGsを取り入れたカードゲームのグループワークを実施。 ●ガイド交流会の実施 開催回数 1回 開催場所 鳥取市役所本庁舎 参加人数 16名 	B：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	圏域への観光入込客数（人）	4,764,000	7,450,000	R2.12月末見込み3,193千人 R2年度末見込み 4,257千人 ※R1実績値 6,580千人×前年比64.7% =4,257千人 （前年比はR元とR2の4～12月の入込実績を比較）	
27	観光大学運営・活用事業	現在、鳥取市で実施している観光マイスター育成制度を圏域内へ拡充し、圏域内のホスピタリティー向上を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ●現在までの状況 <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取市観光大学（事務局：鳥取市観光コンベンション協会）の現地研修を、東部圏域エリアに拡大して実施。 ・受講対象者を圏域内へ拡充して募集。 令和2年度の募集は令和2年10月～11月末 ●事業の内容（予定） 令和3年1月7日～2月4日 観光大学 令和3年3月1日 マイスター認定証授与式 	B：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	観光マイスター新規認定者数（人）	40	40	0	20 （コロナウイルス感染防止のため人数を絞って実施予定。）
28	砂のルネッサンス連携事業	国内砂像選手権等、砂像に関する事業を1市6町と共催し、連携事業実施、PR	<ul style="list-style-type: none"> 鳥取砂のルネッサンス2020 ○プレイリーダー育成事業 <ul style="list-style-type: none"> ・目的 砂場を活用した遊びを提供できる人材を育成する。 ・内容 実行委員会向けに幼児教育の玩具メーカー（株）ポーネランドへ講師を依頼し、研修を行った。また、来年に向けた育成事業用のマニュアルを作成中。 ○幼保キャラバン事業 <ul style="list-style-type: none"> ・目的 鳥取市内にある幼稚園・保育園に向けてすなば遊びにおける課題に取り組む。 ・内容 各園へのアンケート調査やオンラインの勉強会を行う。 ○コロナ復興砂像制作事業 <ul style="list-style-type: none"> ・目的 市民やまちが元気を取り戻せるようお願いを込めて砂像を制作する。 ・内容 鳥取駅前風紋広場にて、風神雷神の砂像を制作し展示を行った。 ・期間 令和2年10月31日～令和2年11月17日 	B：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	圏域への観光入込客数（人）	4,764,000	7,450,000	R2.12月末見込み3,193千人 R2年度末見込み 4,257千人 ※R1実績値 6,580千人×前年比64.7% =4,257千人 （前年比はR元とR2の4～12月の入込実績を比較）	
29	若者の地元定着促進事業	圏域の高校生を対象にした圏域企業見学会を実施する	<ul style="list-style-type: none"> ●R2.12末時点 <ul style="list-style-type: none"> ①実施時期及び②企業見学会参加高校（予定含む）：鳥取商業高校(7/10・1/15)、鳥取湖陵高校(10/27)、青谷高校(10/29)、鳥取工業高校(11/11・17)、鳥取緑風高校(11/13・12/8)、鳥取敬愛高校(12/15)、鳥取城北高校(12/17)、岩美高校(2/3)、智頭農林高校(3月頃)（9校） ③企業見学会参加企業（予定含む）：36社 	C：コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	企業見学会参加人数（人）	650	820	526	731
30	国際経済交流推進事業	国際的な経済・観光交流促進を目的に設置している「鳥取市国際経済発展協議会」で実施する情報発信や貿易相談サポート等の業務について、支援対象範囲を麒麟のまち圏域に拡大する。	<ol style="list-style-type: none"> 1) 企業の海外進出及び海外販路開拓等の海外展開に関する貿易相談・サポート →オンラインを活用し、現地とのやり取りをサポートしたほか、越境EC等の取組の周知を強化した。 2) 海外商談会・経済ミッション等支援及びマッチング →新型コロナウイルス感染症の影響により、海外商談会への参加や来訪団体とのマッチングは実施できなかった。 3) 国際観光（通訳等）の推進やインバウンド需要の取り込み。 4) 翻訳・通訳支援（主に企業・行政等対応） →新型コロナウイルス感染症の影響によるインバウンド客の減少により、件数は例年を大きく下回った。 	A：コロナ禍により中止、影響が大きい	インバウンド需要取り込みに向けた観光パンフレットなどの翻訳支援件数（件）	141	156	29	52

イ 高次の都市機能の集積・強化

No.	事業名	事業概要	実績	コロナ対応状況	K P I				
					指標（単位）	基準値 (H28)	目標値 (R2)	12月末現在値	R2年度末見込
31	鳥取市立病院、岩美町国民健康保険岩美病院、国民健康保険智頭病院の地域医療研修協力事業	鳥取市立病院の初期及び後期研修医師が岩美町国民健康保険岩美病院及び国民健康保険智頭病院において、地域医療研修を行う。	令和2年度は対象となる初期研修医がいないので医療研修は実施しないが、引き続き連携を図っていく。	-	本事業を継続して実施	実施	継続	継続	継続
32	鳥取市立病院と国民健康保険智頭病院の医師の相互派遣事業	鳥取市立病院の泌尿器科・産婦人科・外科の医師がそれぞれ週に1回智頭病院で診療している。その他にマンモグラフィの二次読影業務を行っている。	鳥取市立病院の泌尿器科・外科等の医師が智頭病院で診療している。その他にマンモグラフィの二次読影業務を行っている。	D：計画どおり実施、もしくは実施見込み	本事業を継続して実施	実施	継続	継続	継続
33	鳥取市立病院、公立浜坂病院の相互連携事業	鳥取市立病院及び公立浜坂病院の情報共有や相補的な相互連携を行う。	鳥取市立病院の医師（整形外科・総合診療科）を派遣し、公立浜坂病院で診療をしている。	D：計画どおり実施、もしくは実施見込み	本事業を継続して実施	実施	継続	継続	継続
34	鳥取市夜間・休日急患診療所運営事業	夜間・休日の1次救急医療体制（内科・小児科）を確保するため、夜間・休日急患診療所の運営を行う。	【委託先】鳥取県東部医師会 【実施場所】東部医師会急患診療所（鳥取市富安1丁目58番地1） 【診療時間】 [夜間]通年（365日）：午後7時から午後10時まで。 [休日]日曜日・祝日、8月13日から8月15日、12月30日から翌年1月3日：午前9時から午後5時まで。 【患者実績】平成28年度 17,000人 平成29年度 17,735人 平成30年度 16,150人 令和元年度 15,865人 令和2年度 4,708人 12月末現在	C：コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	急患診療所の開所	開所	継続	継続	継続
35	病院群輪番制運営支援事業	休日の2次から3次救急医療体制を確保するため、対象病院の輪番日運営に対する支援を行う。	【実施病院】市立病院、中央病院、生協病院、日赤病院の輪番制 【診療時間】日曜・祝日等の休日（第2土曜日含む）並びに年末年始：午前8時30分～翌日の午前8時30分 【実施日数】平成28年度 82日 平成29年度 83日 平成30年度 83日 令和元年度 88日 令和2年度 68日 12月末現在	C：コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	病院群輪番制の実施	実施	継続	継続	継続
36	ドクターカー導入検討事業	鳥取市立病院にドクターカーを配備し、消防署の要請を受けて医師が救急現場に出動したり、搬送途中の救急車と合流することで、迅速に救急患者に対応	令和2年度より救急科の専任医師が不在となり、複数の科の医師により救急患者の対応を行っている。後任の専任医師を確保できる見込みは立っておらず、ドクターカーの導入については現時点では実施困難な状況。	-	研究する	-	研究	研究	研究
37	鳥取砂丘コナン空港利用促進事業	鳥取砂丘コナン空港の利便性向上や利用促進を行う。	■新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため事業縮小。 ■引き続き、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、関係機関と連携し、事業内容の見直しや実施時期について検討していく。	B：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	東京便の搭乗者数（人／年）※有償利用	353,541	400,000	未確定	未確定
38	公共交通機関のバスカード、ICカードの発行・運用検討事業	JR・智頭急行・若桜鉄道・日交バス・日ノ丸バス・全担バスなどの公共交通全てで使用可能なICカードの発行・運用に係る各種検討を行う。	■本事業の推進にあたって県と連携を図るため、鳥取県の担当職員（地域交通政策課）との意見交換を実施。県の取組状況と今後の方向性等について情報共有を行った。（7/21、10/29）	D：計画どおり実施、もしくは実施見込み	研究・検討会議の実施（回）	0	2	2	2
39	山陰新幹線の整備促進のための要望活動等事業	関係市町と連携し、山陰新幹線の早期実現をめざし、関係機関への要望活動、啓発活動を積極的に実施。	R2.6.30 山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議 総会 ※新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、書面開催 R2.9.18 国土交通省及び山陰新幹線を実現する国会議員の会の所属議員に対し、要望書を郵送 ●今後の実施予定事業 情報発信のためホームページやSNS、パンフレット等の作成を検討 ●連携による効果・成果 要望活動の実施など、整備計画格上げに向けた取組を推進した。	B：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	国等への要望活動回数及びシンポジウム等開催回数（回）	2	2	1	1

No.	事業名	事業概要	実績	コロナ 対応状況	K P I				
					指標（単位）	基準値 (H28)	目標値 (R2)	12月末現在値	R2年度末見込
40	公立鳥取環境大学が実施する教育・研究活動との連携事業	圏域の活性化に向けて活動する「とっとり麒麟地域活性化プラットフォーム」へ参画し、大学、経済団体等と連携し地域課題の解決に取り組む。	<p>2月に開催する「とっとり麒麟地域活性化プラットフォーム地域連携推進会議」において圏域自治体・関係団体等と大学との連携について意見交換を実施する予定。コロナ禍のためオンラインで実施予定。</p> <p>【鳥取市】 「とっとり麒麟地域活性化プラットフォーム」の活動拠点である「まちなかキャンパス」での大学の地域貢献活動事業はコロナ禍のため今年度は実施しない見込み。実施は学内向けの事業（プロジェクト研究、ゼミ活動等での利用）のみ実施。運営支援としては、家賃の半額補助を実施（R2年度で終了）</p> <p>【岩美町】 公立鳥取環境大学の整備した「むらなかキャンパス」ではコロナ禍のため今年度は学内向けの事業（プロジェクト研究、ゼミ活動等での利用）のみ実施。</p>	A：コロナ禍により中止、影響が大きい	公立鳥取環境大学が実施する教育・研究活動と関係市町との連携事業数（事業）	2事業（1市1町）	全市町で1事業以上実施	2	2

ウ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

No.	事業名	事業概要	実績	コロナ対応状況	K P I				
					指標 (単位)	基準値 (H28)	目標値 (R2)	12月末現在値	R2年度末見込
41	看護・医療系人材の育成・確保事業	看護職員実習指導者の養成に努めるとともに、看護職員実習指導者の養成のための支援を行う。	【事業詳細】県等が主催する看護職員実習指導者養成講習会に職員を受講させる医療機関（県立の病院等は除く）に受講者の受講期間（約2か月）の基本給の一部を補助。 【補助対象実績】平成28年度 13人 平成29年度 13人 平成30年度 13人 令和元年度 3人 令和2年度 0人 12月末現在	A：コロナ禍により中止、影響が大きい	看護職員実習指導者養成講習会の受講者数（人/年）	13	12	0	0
42	医療への関わり方の圏域住民への周知事業	医療の関わり方などについて、講演会等開催し住民に周知する。	例年の講演会形式による市民医療講演会は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止し、ケーブルテレビ放送や動画共有サービスにより地域住民が講演内容を視聴できるようにする。	B：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	本事業を継続して実施	実施	継続	継続	継続
43	病児・病後児保育事業	就労等により、子どもが病気の際に自宅での保育が困難な場合に利用するための各市町の病児・病後児保育施設を、圏域内での相互利用が可能となるよう広域化を図る。	広域利用の実施状況（鳥取生協病院、病児保育室とくよし） 令和元年4月から令和2年12月までの実績 ・利用者数 17人 八頭町 3人 若桜町 0人 岩美町 14人（生協病院13人、とくよし1人） ・利用回数 17回	C：コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	本事業を継続して実施	実施	継続	継続	継続
44	障がい者歯科診療所運営支援事業	一般歯科医院での診療が難しい心身障がい児（者）の歯科保健指導・歯科診療を行う鳥取県口腔総合保健センターの安定的な運営を支援することで、障がい児（者）の口腔健康の維持・向上を図る。	・障がい者歯科診療事業 毎週木曜日の午後に診療を行う。（医師2名体制） 延べ利用者数：（4～12月）415名（圏域全体の数字） 【内訳】鳥取市350名、岩美町16名、八頭町34名、智頭町0名、若桜町5名、その他10名 ・口腔疾患予防処置及び歯科相談診療 毎週火曜日の午後にフッ化物塗布、初期う蝕（虫歯）の処置等の歯科疾患予防処置・保健指導及び各種相談の受付・助言を行う。 延べ利用者数：（4～12月）31名（圏域全体の数字）	C：コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	本事業を継続して実施	実施	継続	継続	継続
45	圏域内での在宅医療・介護連携の推進事業	圏域内における医療や介護の連携を強化し、住民の意向が強い在宅療養を推進するための地域資源の連携・活用に取り組む。	●鳥取県東部1市4町は協働し、鳥取県東部医師会へ事業委託し事業を実施。（全8項目を実施中） ●新温泉町及び香美町を含めた1市6町で、病院や介護施設でも使用できる終活支援ノートを企画し共同作成（利用）予定、ACPパンフレットの共同活用。 ●鳥取県東部医師会で実施される多職種連携研修会への美方郡関係者の参加。 ○香美町との情報共有打ち合わせ等（2回） ※コロナの影響により、課題検討する会議の開催が出来なかった。（現在はZOOMを導入し開催） ※多職種研修会は、3回中止となった。年度後半はZOOM活用して実施。	A：コロナ禍により中止、影響が大きい	在宅医療・介護連携推進事業の実施（実施事業数）	全8事業	全8事業	全8事業	全8事業
46	社会福祉協議会各種相談事業	社会福祉協議会が実施している各種相談事業（法律、司法書士、人権、行政、身障、教育、青少年等）について、圏域の住民に対象を広げて相談を受け付ける。	社会福祉協議会が実施している各種相談事業（法律、司法書士、人権、行政、身障、教育、青少年等）について、圏域の住民に対象を広げて相談を受け付けている。連携町社会福祉協議会を通じて住民へ周知を行う。R2.11.26開催の専門委員連絡会にて連携町社会福祉協議会へ事業の周知を行った。	C：コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	社会福祉協議会各種相談件数（件/年）	118	110	288	350
47	鳥取県東部聴覚障がい者センター活用事業	鳥取県東部聴覚障がい者センターを活用し、圏域内で均衡した聴覚障がい者の社会参加促進を支援する。	【聴覚障がい者意思疎通支援事業】 手話通訳者派遣（4～12月）2,429件（圏域全体の数字） 内訳：鳥取市2,343件、岩美町6件、八頭町21件、智頭町50件、若桜町0件、その他9件 要約筆記者派遣（4～12月）98件（すべて鳥取市） 【手話奉仕員養成研修事業】 22名申込（講習会は9月～全21回） 【聴覚障がい者生活支援事業】 月2回 計14回実施 ※コロナウィルスで6月からの実施 延べ参加者数：232名（圏域全体の数字）	C：コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	手話奉仕員養成研修受講者数（人/年）	34	34	22	22
48	保育者等を対象とした障がい児支援の在り方等の研修実施事業	障がい児等への支援を行う保育者等に対し、療育を含めた各地域における障がい児等支援に関する理解を深める。	●地域療育セミナーを1月にケーブルテレビ放映により実施 ●地域療育関係職員研修会を12月に実施 ●児童発達支援センター若草学園における参加型公開療育は中止	B：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	保育者等を対象とした障がい児支援の在り方等の研修実施、積極的な研修参加案内（回/年）	2	3	1	2
49	点訳朗読奉仕員養成研修事業	視覚に障がいのある方の福祉に理解と熱意を有する方に、点訳・朗読の指導を行い、奉仕員を養成する。	●点訳奉仕員養成講習、朗読奉仕員養成講習は今年度より開催形式が変更され、令和2年度は西部で8月～11月に実施。東部圏域からは、コロナ禍により研修受講希望者なし。	A：コロナ禍により中止、影響が大きい	点訳朗読奉仕員養成講座受講修了者数（人）	5	5	0	0
50	地域活動支援センター事業	障がいのある人が、地域活動支援センターで創作活動や生産活動、社会との交流活動等を行うことにより社会参加を促進し、その能力や適正に応じ、自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう支援を行うもの。サマーハウスが、創作活動や社会との交流の場等として設置する地域活動支援センターの運営を支援する。	生活支援事業、相談事業、地域交流活動、その他地域生活支援事業を行っている。 延べ利用者数：（4～12月）3,193人（圏域全体の数字） 鳥取市以外の利用者は約1割	B：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	年間延べ参加者数（人）	6,500	6,500	3,193	4,000

No.	事業名	事業概要	実績	コロナ対応状況	K P I				
					指標 (単位)	基準値 (H28)	目標値 (R2)	12月末現在値	R2年度末見込
51	地域食堂支援事業	地域住民が主体的に地域課題の解決に取り組む「地域食堂（こども食堂）」とそれを支援する各団体を結びつける役割を担う「鳥取市地域食堂ネットワーク」を中間支援組織として強化し、広域的かつ効果的な支援を行うための事務局体制の確立・強化を図る。 ※「地域食堂」とは、子どもを中心に地域の様々な人々が集う居場所となる食堂	平成29年11月から「鳥取市地域食堂ネットワーク」として、鳥取市内の「地域食堂」へ支援を実施。平成30年12月からは、鳥取県東部地区で実施している「地域食堂（こども食堂）」にも食材の運搬・提供などの支援を拡大。（岩美町、八頭町、智頭町） ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、圏域内の地域食堂（こども食堂）は、活動を休止や、形態を変えて実施していたが、困っている子どもがいる世帯への支援として、地域食堂（こども食堂）を通じて、食材配布（4月上旬～）を実施。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で、生活に困窮している学生、留学生への食材支援を6月上旬～9月上旬に実施。（支援団体からの特別支援や新規の支援団体の支援をいただいた） ・各運営者へ食材や持ち帰り用容器の購入費助成、消毒液やマスクなどの衛生用品を共同購入して配布（6月下旬～8月上旬）。 令和2年3月～コロナ禍により中止しているが、再開に向けて7月に「感染防止・食品衛生に関する研修・意見交換会」を実施。令和2年9月24日に「地域食堂（こども食堂）実施のためのガイドライン」を運営団体および各担当課へ送付するなどの対応を図り、10月から順次再開。新型コロナウイルス感染症の影響で、新規立ち上げができていないが、関係者との協議を継続的に実施。	A：コロナ禍により中止、影響が大きい	地域食堂ネットワークで支援する「地域食堂（こども食堂）」数 (R4:29)	4	26	23	23
52	博物館施設等活用連携事業	小中学校児童生徒の圏域内学習に寄与するため、圏域内博物館施設を学校教育や子どもたちの体験学習へ活用する	令和2年度の上半期における実施件数は4件で、通年で4件と想定される。事業は鳥取市内の学校には定着してきているが、連携中枢都市圏内の他町からの要望は見込めていない。 実績 若葉台小学校・青谷小学校・国府東小学校・用瀬小学校	C：コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	博物館施設等活用連携事業実施回数（回/年）	0	6	4	4
53	圏域の文化財情報連携事業	圏域各市町が連携して、圏域内全体の文化財情報を閲覧できるようにする。	令和2年度に策定される「鳥取市歴史文化基本構想」の成果を反映して、令和2年度中にHPの更新を計画していたが、コロナ禍により委員会の開催等に支障を来し、策定が令和3年度まで遅れたため、実施できていない。	A：コロナ禍により中止、影響が大きい	圏域文化財情報公式ウェブサイトページのアクセス数（件）	3,000	3,200	0	0
54	森のようちえん運営・活用事業	智頭の森というフィールドを学び舎として積極的に活用し、雨や雪の日でも毎日森に出かける野外保育により、幼児期の心と体の育成に取り組む。	智頭の森というフィールドを学び舎として積極的に活用し、雨や雪の日でも毎日森に出かける野外保育により、幼児期の心と体の育成に取り組んでいる。	C：コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	森のようちえんへの入園を目的とした移住者の数（人）	47	120	108	108
55	麒麟のまち交流スポーツ大会事業	各市町又は圏域内市町間で行っているスポーツ大会を、圏域全体に参加対象を広げるにより、スポーツを通じた地域間の交流を図る。 鳥取市：プロポーザルによる事業決定 新温泉町：新温泉町スポーツレクリエーション記録会	【鳥取市】 「麒麟のまちスポーツ振興事業補助金」について、スポーツ事業を公募し、12/14にプロポーザル審査会を実施。3件の事業を採択した。 ○麒麟のまち鳥すぽカップ（バドミントン大会） R3.1.11 【52千円】 ○麒麟のまち プロバスケ選手・YouTuber バスケ指導者のクリニック R3.2月下旬 【388千円】 ○第1回麒麟のまちBEACH SOCCER GAMES 3月下旬 【1,570千円】 【新温泉町】新温泉町スポーツレクリエーション記録会 11/28	C：コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	参加者数（人）	159	350	77	未定
56	国際理解推進交流事業	鳥取市に配置の国際交流員（英語圏・ドイツ担当1人、韓国担当1人、中国担当1人）が市民向けに行っている国際理解講座（料理教室、文化の紹介、語学等の講座）を5町で希望する団体等へも広げ、圏域全体における国際理解の推進を図る。	◆事業実績 鳥取市及び若桜町において、小学校、公民館などの講座等に派遣 講座回数：35回（12月末現在）	B：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	国際交流員の国際理解講座等への派遣回数（回）	87	106	35	42
57	公共図書館の相互利用事業	圏域内に居住している人はだれでも、圏域内の各公共図書館で資料が借りられる相互利用を行う。圏域全体で読書活動の推進、利便性の強化を図る。（ただし、利用者が各館に出向き貸出・返却を行うこととする。また、マイナンバーカードを図書カードとして活用することについては、引き続き検討する。） 30年度は相互利用に係るチラシを作成し、周知を図る。	①香美町加入（令和2年4月1日）により、広報チラシを新たに作成し、周知を図った。 ②各館の利用案内を設置し、周知を図った。 ③圏域内で開催される研修に参加し、職員のスキルアップを図った。	B：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	在住外登録者の利用冊数（総人口100人当たり）（冊）	8.7	9.5	9.4	12.5
58	野生鳥獣被害防止事業	鳥獣被害防止対策連絡調整会議を開催するとともに、侵入防止柵、一斉駆除、捕獲奨励金、捕獲器具購入等に対する支援を行う。	【鳥取市】 侵入防止柵、一斉駆除、捕獲奨励金、捕獲器具購入等に対する支援 【岩美町】 捕獲奨励金、捕獲器具購入等に対する支援を実施 【若桜町】 捕獲奨励金、侵入防止柵、カラスの一斉捕獲、鳥獣捕獲、捕獲檻管理、クマ出没対応等に対する支援 【智頭町】 捕獲奨励金 ニホンジカ366頭、イノシシ124頭 一斉捕獲 カラス18羽 【八頭町】 鳥獣捕獲数 (R2.3月末見込み) ○イノシシ 475頭 ○シカ 2,044頭 侵入防止柵設置○電気柵 15,545m ○ワイヤーメッシュ柵 4,481m 【香美町】 捕獲奨励金、侵入防止柵に対する補助、捕獲器具購入に対する補助、狩猟免許取得に対する補助 【新温泉町】 侵入防止柵、捕獲奨励金、捕獲器具購入等に対する支援	D：計画どおり実施、もしくは実施見込み	年間被害面積（a）	3,361	3,397	5,460	5,959
59	射撃場整備・管理運営事業	農作物に被害を与える野生鳥獣の捕獲のための射撃練習や射撃講習ができる射撃場を整備し、銃猟者を育成・確保する。	東部圏域に銃猟者の技能講習が可能な射撃場（捕獲技術高度化施設）鳥取クレー射撃場の運営	C：コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	鳥取クレー射撃場利用者数（人/年）	420	450	670	670
60	いなばのジビエ推進協議会支援事業	猪や鹿等の有害鳥獣をジビエとして有効活用するため、先進事例研究やイメージアップ及び消費拡大に向けた取組を行う。	ハンター向け人材育成研修（8/1～9/5の5日間 132人） 鹿革ワークショップ（9名）、いなばのジビエフェア（800名） ジビエ料理教室（63名） その他県外へのPRイベント等はコロナ禍により中止	A：コロナ禍により中止、影響が大きい	いなばのジビエ推進協議会主催イベント入場者数（人/年）	20,000	22,000	1,004	1,020

No.	事業名	事業概要	実績	コロナ 対応状況	K P I				
					指標 (単位)	基準値 (H28)	目標値 (R2)	12月末現在値	R2年度末見込
61	グリーンツーリズム推進事業	都市住民との交流、グリーンツーリズムに取り組んでいる地域・団体が構成するグリーンツーリズム連絡会等の活動やそれぞれの地域活動を支援する。	【鳥取市】 R2年10月19日 鳥取市グリーンツーリズム連絡会主催で「木工と釣り体験を通して自然と触れ合おう」開催。研修会参加者17名。 【香美町】 実績なし 【新温泉町】 コロナ禍のため実績なし	B: コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	グリーンツーリズム関連団体が主催する体験事業の参加者総数(宿泊を伴うもののみ)(人)	1,485	2,160	17	17
62	森林セラピー事業	智頭町の90%以上を占める森林資源を活用し、住民の健康増進はもとより、都市住民との交流・誘客・企業提携などによる地域の活力創造と、疎開の町としての癒しの里づくりを進める。	【鳥取市】 実績なし 【智頭町】 日常とは離れ、知らない地域の人々との交流や仕事体験、森林セラピー、民泊等、「智頭町で暮らす」ことを体験し、様々な角度から働き方・生活時間の使い方などを見直す体験型研修を推進した。2泊3日で参加企業にワーケーション、SDGsに関する研修も併せて実施。新人研修としても実施。	A: コロナ禍により中止、影響が大きい	森林セラピー導入企業数(社)	0	16	5	5
63	麒麟のまち創生戦略会議運営事業	麒麟獅子文化をはじめとする、さまざまな文化・歴史を共有する、因幡と但馬地域のそれぞれの市町が、行政、文化、経済等の連絡調整を行い、各市町の発展と県境地域の振興を図る。(構成市町: 鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、兵庫県香美町、新温泉町)	・令和2年7月17日: 麒麟のまち創生戦略会議を開催。新型コロナウイルス感染症に係る両県状況、地方創生推進交付金、日本遺産等について首長協議を実施。 ・令和2年11月16日: 麒麟のまち創生戦略会議・サミットを開催。麒麟のまち観光局関係、地方創生推進交付金、連携中枢都市圏事業の取組状況・見直し等について首長協議を実施。 サミットテーマ「ウィズコロナ・アフターコロナにおける地方創生の取組について」(今後の予定) ・令和3年2月16日: 麒麟のまち創生戦略会議を開催予定。	C: コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	サミット開催数(回)	1	1	1	1
64	地域づくり活動発表会開催事業	各地域の地域づくり活動を行う団体・者の取組状況の発表や意見交換の場を設定し、活動の成功例・失敗例、課題問題点などの情報共有を進めることで、地域が連携した地域活動の推進を図るとともに、併せて地域相互間の往来を促す取組を行うことで、地域周遊のラインの形成を図る。(例示 地域産品を活用した特産品開発について、情報交換の場で違う視点での意見を交え、意見交換してブラッシュアップを図り商品化につなげる等。)	令和3年3月中旬 とっとりふるさとリーダーアカデミー成果発表会を実施予定。	B: コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	参加団体数(回)	0	15	0	15
65	圏域防災力の向上事業	圏域内における防災情報連携により「自助・共助・公助」それぞれの機能を促進させ、圏域防災力の向上に取り組む。 【平成30年度の主な取組】 ●災害時相互応援協定の締結 ●自主防災組織等を対象とした圏域内合同防災研修会の開催(共助連携) ●防災備品・備蓄品の情報連携(公助連携) ※31年度以降の連携内容については、ミサイル等武力攻撃事態に関するオリジナル広報等の製作や防災マップ等の情報連携発信等を予定している。	○令和2年12月13日鳥取市主催「鳥取市防災リーダーフォローアップ研修」に岩美町・智頭町・八頭町・香美町・新温泉町(若桜町のみ欠席)の防災担当職員が参加され研修を実施。コロナ禍での避難所運営等を学んでもらった。 ○同日、防災担当職員の意見交換会も実施。各町の防災マップ・避難所マニュアルについて、防災業務の課題についてなどの意見交換を行った。 各市町担当者が、定期的に集まり意見交換することは意義があると考えている。各町担当者より、鳥取市の防災訓練の視察希望があり、R3年度対応予定、取組の共有等につなげる。	B: コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	防災情報連携事業数(事業)	0	2	2	2
66	ごみ減量化推進事業	ごみに対する啓発事業を各市町で連携して行っていく。また、生ごみ堆肥化容器の購入促進等の具体的な減量化の取り組みを行い、家庭から排出されるごみの減量化を図る。	【鳥取市】 生ごみ堆肥化容器等購入補助 30件: 57,500円 優良事業所認定 1件認定予定(2月頃) 段ボールコンポスト講習会(ごみ処理施設見学含む) 2回 【岩美町】 コンポスト購入補助: 15件: 48,200円 生ごみ処理機購入補助: 16件: 459,700円 【若桜町】 電動生ごみ処理機購入補助: 1件: 20,000円 コンポスト購入補助: 1件: 3,500円 ボカシ水肥専用容器: 2件: 2,600円 【智頭町】 生ごみ処理機購入補助: 0件 生ごみ分別収集: 41 t 【八頭町】 コンポスト購入補助: 0件 生ごみ分別収集: 105 t 【新温泉町】 新温泉町生ごみ自家処理機購入費補助金 電気生ごみ処理機購入補助: 3件: 60,490円	B: コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	可燃ごみの処理量(t)	61,612	60,297	45,333	60,015
67	ゆめぐりエクスプレスバス運行事業	鳥取市と兵庫県新温泉町の間を結ぶ定期バスの運行を支援し、生活交通の確保及び観光客の利便性向上を図る。	■ゆめぐりエクスプレスバス運行協議会総会を開催(6/29) 【特記】 令和2年10月6日、ゆめぐりエクスプレスバス運行事業者の日本交通が令和2年度末で本路線を廃止することを発表。これに伴い、本事業を令和2年度をもって廃止する。なお、本路線の代替交通のあり方等について、事業番号72で継続検討する予定。	C: コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	平均乗車人員(人/便)	2.47	2.05	0.67	2.00

No.	事業名	事業概要	実績	コロナ 対応状況	K P I				
					指標（単位）	基準値 (H28)	目標値 (R2)	9月末現在値	R2年度末見込
68	J R山陰本線利用促進事業	山陰本線の利用促進や利便性の向上を図るための取組や要望活動を行うとともに、沿線地域の活性化を図る。	<p>【鳥取市・岩美町】 「鳥取県東部地域鉄道利用促進実行委員会（事務局：県交通政策課）」として、ジオライナーの運行支援を実施。</p> <p>【香美町・新温泉町】 1. 連携事業 ①山陰本線・福知山線複線電化促進期成同盟会として、事業を実施 ②兵庫県但馬・鳥取県東部地域の交通・観光連携協議会として、事業を実施 ③駅前レンタサイクル利用補助事業のチラシ配布とHP掲載</p> <p>【新温泉町の取組】 ①鉄道グッズ館「鉄子の部屋」の管理運営 ②職員e-出張事業</p> <p>【香美町の取組】 ①駅トイレ、駐輪場等の維持管理</p>	B：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	山陰本線（久谷～青谷間）の乗客数（千人／年）	3,856	4,110	未確定	未確定
69	智頭線・因美線利用促進事業	智頭線や因美線の利便性向上や利用促進等の事業を行い、沿線地域の活性化を図る。	「智頭線利用促進協議会（事務局：県交通政策課）」として、利用促進に関するチラシを作成・配付。	D：計画どおり実施、もしくは実施見込み	因美線（鳥取～那岐）、智頭線（智頭～山形）の乗客数（千人／年）	3,345	3,350	未確定 (R元年度 3,105千人)	未確定
70	広域バス路線等運行支援事業	圏域内における広域的なバス路線、また主要なバス路線や鉄道等と連携して運行する地域交通バスに対する支援を行う。合わせて、鉄道と路線バス、各市町運営バス等との接続の利便性を向上させるため、所要の調整を行う。	■地方創生臨時交付金を活用した路線バスの継続運行に対する支援事業を検討、実施。	D：計画どおり実施、もしくは実施見込み	路線バス利用者数（人／年）	2,474,000	減少抑制年 5%以内	未確定 (R元年度 実績：減少率 -8.2% (2,678,437 人))	未確定
71	若桜鉄道利用促進事業	若桜鉄道の利便性向上や利用促進のためさまざまな取組を行う。 ①若桜鉄道利用促進 若桜鉄道利用促進実行委員会が行うシルバー回数券への助成、ミニ時刻表の作成等の若桜鉄道の利用促進事業や観光ツアーの誘致等の観光振興事業に対して支援を行う。 ②若桜鉄道観光列車運行事業 観光列車「昭和」の整備と、周辺市町と連携したツアー商品の造成やグッズ開発、観光施設等のPRを行う。	<p>【鳥取市】 「若桜鉄道利用促進実行委員会（事務局：八頭町）」が中心となって、イベント助成や観光列車を活用した商品開発等に対する助成等を実施</p> <p>【若桜町】 ・シルバー回数券・免許返納者への助成を実施 ・観光列車を活用したツアー造成及びPR活動を実施 ・通学定期の助成を実施 ・ミニ時刻表の全戸配布を実施</p> <p>【八頭町】 ・ミニ時刻表の作成、全戸配布を実施。また、若桜鉄道沿線各駅で開催されるイベント等への運営助成を実施 ・鳥取県が行う通学費助成のほか、補助対象基準外についても通学費助成を実施 ・観光列車を軸にして、観光ツアーの誘致並びにツアー商品造成等を実施 ・若桜鉄道臨時貸切列車利用料を無料にするキャンペーンを実施し、鉄道を軸とした周遊促進事業を展開</p>	B：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	若桜鉄道の乗客数（人／年）	325,000	410,000	未確定 (R元年度実績 353,924人)	未確定
72	麒麟のまちを巡る交通網の整備検討事業	ゆめぐりエクスプレスバスなど圏域を移動できる交通機関の整備充実と高規格道路開通を見据えた高速バスの運行を検討する。 ※各事業者との調整、ニーズ把握などを踏まえ事業化を研究。	■交通政策担当者会（5/15、7/21、10/29）において、圏域の高速バス運行の必要性等について意見交換を実施。	D：計画どおり実施、もしくは実施見込み	要望活動数（回）	4	4	3	3
73	JR鳥取駅周辺の広域交通結節機能の向上促進事業	JR鳥取駅周辺を麒麟のまち圏域の広域交通結節点と位置づけ、施設整備及び機能強化・充実を図る。	■鳥取市関係課によるプロジェクトチーム（鳥取駅周辺再整備チーム）において、交通結節点としての機能強化に向けた、今後の方向性等について協議を行った。（5/26、8/11、10/5、12/21）	D：計画どおり実施、もしくは実施見込み	機能強化・充実件数（回）	0	1	4	4
74	持続可能な生活交通等の維持・確保対策事業	将来にわたり持続可能な生活路線バス等の維持・確保に向けた様々な取組を行う。	<p>■自家用車による通勤から路線バスを中心とした公共交通機関を利用した通勤に転換を図るためのイベント、キャンペーン等を実施。 ・麒麟のまち公共交通利用促進キャンペーン（8/1～11/30） ・麒麟のまち「ノルデ運動」（9/18～R3.3/31）</p> <p>■交通政策担当者会（5/15、7/21）において、各地域での生活交通の維持・確保に向けた取組状況について情報共有を行った。</p>	D：計画どおり実施、もしくは実施見込み	路線バス利用者数（人／年）	2,823,000人 (H30実績)	減少抑制年 5%以内	未確定 (R元年度 2,680,137人)	未確定
75	I C Tインフラを活用したコンテンツ交流促進事業	各自治体がコミュニティ番組やデータ放送ならびWebコンテンツ等として保有する、観光・イベントを中心とした地域に密着した情報を圏域内の既存のI C Tインフラを活用した交流を促進することにより地域活性化を図る。	<p>【鳥取市】 広報番組「とっとり知らせたい！」の中で「麒麟のまち放送局」として各町からの提供映像を紹介。毎週1つの町を放送、時間は5分程度。</p> <p>【新温泉町】 3市町分まとめて毎日繰り返し放送。1日3回。</p> <p>【八頭町】 3市町分まとめて毎日（5回程度）繰り返し放送。</p> <p>【岩美町】 月末の土日に3市町分をまとめて放送。1日2回。</p>	D：計画どおり実施、もしくは実施見込み	CATVでの相互放送	実施	継続	継続	継続

No.	事業名	事業概要	実績	コロナ 対応状況	K P I				
					指標（単位）	基準値 (H28)	目標値 (R2)	9月末現在値	R2年度末見込
76	I C T関係機器・データ等の共同調達事業	関係市町村と連携し、共同でI C T関連機器・データ・アプリケーション等の共同調達を行う。※共同調達の対象は鳥取県I C T協議会等での調達対象外となったものなどを対象とする。	鳥取県市町村I C T共同化推進協議会において、当協議会での取り扱い案件の整理がなされた。今後は、当協議会で除外されたシステム等について連携市町と協議し、共同調達の可能性を模索していく。 (R2年度)情報セキュリティ研修の共同開催を実施 ○情報セキュリティ研修の共同開催：2021/1/27～29 ・コロナ対策を考慮し、集合研修ではなくWeb研修を実施	C：コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	共同調達案件数（回）	0	1	0	1
77	武蔵野市家族自然体験交流事業	鳥取県主催の武蔵野市の家族受け入れ（自然体験交流）事業に参画し、地域の特色ある資源を活用した都市との交流事業を実施する。	新型コロナウイルス感染症の影響で中止。（次回はR4年度）	A：コロナ禍により中止、影響が大きい	受入人数（人）	175	0	0	0
78	若者定住促進事業	婚活サポートセンターを活用し、圏域内外の独身男女の出会いの機会を提供する。また、圏域で実施する婚活イベントや婚活サポートの情報共有と事業の連携を行うとともに、若者が集う場の創出を図る。	平成31年3月から会員対象を麒麟のまち圏域に拡大し、「麒麟のまち婚活サポートセンター」として事業実施。毎月、4回程度のイベントを行っているが、今年度は新型コロナウイルス感染症予防のため大規模イベントは実施せず、10人程度で行う小規模イベントのみを実施。小規模イベント36回（オンライン16回、対面式20回）開催。 R2年度の麒麟のまち圏域各町での開催イベント実績は以下のとおり。 ○7月18日（土） 八頭町総合運動公園 ①20～35歳対象イベント 参加者13人 カップル成立5組 ②30歳～対象イベント 参加者 9人 カップル成立1組 ○8月29日（土） 新温泉町但馬牧場公園 ①20～35歳対象イベント 参加者数13人 カップル成立2組 ②30歳～対象イベント 参加者数11人 カップル成立2組	B：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	圏域目標人口（人）	247,429	254,750	252,162	(252,162人)
79	お試し住宅利用者へのパスポート発行事業	圏域のお試し住宅利用者に対し、圏域の施設等で割引サービスなどを受けられるパスポートを発行する。	鳥取県が実施している「とっとり移住応援メンバーズカード」を活用し、お試し住宅利用者へのカード加入案内を行い、体験中に圏域での割引サービス等の提供を行った。（新型コロナウイルス感染症の影響により、お試し住宅の利用を緊急事態宣言期間中に一時休止又はR2.4月以降完全休止しているため、利用件数が減少している。）	A：コロナ禍により中止、影響が大きい	圏域外からのお試し住宅利用件数（件）	135	147	19	25
80	圏域全体の空家登録バンクの整備・運用事業	圏域全体の「空家登録バンク」情報を共有するとともに、おためし住宅や空家の紹介など、移住希望者へ一体的に情報提供を行うことで圏域全体として移住促進を図る。	各市町の空き家登録一覧を情報共有し、必要に応じて移住相談者に他の自治体の物件情報の提供を行った。（新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言等により、移住希望者の現地訪問や受け入れ団体の対応等に影響が生じたが、働き方の変化やコロナ禍を機に地方移住への関心が若干高まったこともあり、一定の成果をあげることができた。）	B：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	圏域外からの移住者の内、登録物件へ入居した件数（件）	26 (香美町含む28)	32	26	37
81	麒麟のまち移住相談会開催事業	都市部で開催される移住相談会への共同参加や、関西情報発信拠点施設「麒麟のまち」などを活用した相談会を共同開催する。	ふるさと回帰支援センター主催の全国規模の移住相談会に合同で出展し、圏域への移住を呼びかけた。 ▼おいでや！いなな暮らしフェア2020（5月31日／大阪会場／中止） ▼ふるさと回帰フェア2020（10月11日／オンライン開催／参加⇒個別相談は低調であったが、1市6町を集約した麒麟のまち圏域PR動画等の活用により圏域に関心をもっていただくきっかけにもなったものと考え。） ※）新型コロナウイルス感染症の影響により、上半期は都市圏等での現地相談会は全て中止となり、下半期においても終息が見込めない状況から、移住相談会は中止又はオンライン開催となった。また、「関西情報発信拠点施設・麒麟のまち」での圏域独自の相談会も検討していたが、対策徹底の不安や県外出張等の制約により、次年度以降に開催を見送ることとした。	A：コロナ禍により中止、影響が大きい	各市町への移住者数（人）	368 (香美町含む383人)	619	449	620
82	移住体験ツアー開催事業	圏域への移住定住の促進を目的に、圏域を巡る移住体験ツアーを開催する。	夏季に麒麟のまち圏域を巡る「関西情報発信拠点“麒麟のまち”発ワーホリバスツアー（仮称）」を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により「中止」とした。（下半期の開催も探したが、感染者数が増加している状況から年度中の開催は困難と判断した。） ※）各市町での代表的なイベント等が開催される「夏場」の取り組みを強く希望していたことから、次年度に延期する。（国内情勢を注視しながら内容を変更または再度中止とする場合がある。） ※1）各市町での代表的なイベント等が開催される「夏場」の取組を強く希望していたことから、実質は次年度に延期する。 ※2）下半期においてもコロナ終息が見込めない状況から、R2年度におけるツアー形式の取り組みは行わない。	A：コロナ禍により中止、影響が大きい	各市町への移住者数（人）	368 (香美町含む383人)	619	449	620

No.	事業名	事業概要	実績	コロナ対応状況	K P I				
					指標 (単位)	基準値 (H28)	目標値 (R2)	12月末現在値	R2年度末見込
83	圏域移住促進事業	圏域への移住希望者に対してセミナーを開催するなど、移住人口増加を図るための取組を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ● No. 82のワーホリ事業と絡めた「関西情報発信拠点・麒麟のまち」でのセミナー企画を検討していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。 ● ふるさと鳥取県定住機構の協力により、香美町及び新温泉町を含めた麒麟のまち圏域をメインとしたオンライン移住セミナー「やっぱり麒麟のまちで暮らそう！（鳥取来楽暮カフェ企画）」を2回（11/28、3/27）開催した。（圏域に関心をもっていただくきっかけづくりができたものとする。） ※下半期においても終息が見込めない状況から、県外会場設営型のセミナー開催は次年度以降に見送る。	A：コロナ禍により中止、影響が大きい	各市町への移住者数（人）	368 (香美町含む383人)	619	306	568
84	鳥取すごい！ライド支援事業	大規模サイクリングイベント「鳥取すごい！ライド」（主催：鳥取すごい！ライド実行委員会）の運営支援を行い、鳥取市と周辺町村との連携により、自転車を活用した周遊観光の取組を推進する。	【令和2年度予定】 開催予定日：令和2年10月18日（日） 新型コロナウイルス感染症の影響で中止。 代替企画として山本隆弘氏がコースを走行し、コース及びエイドの魅力をPRする動画を作成し動画配信中。（7月臨時補正・補助金100万）	A：コロナ禍により中止、影響が大きい	鳥取すごい！ライドの参加者数（人） 人/年	534	600	0	0
85	広報誌リレー記事掲載事業	連携事業の周知を図る目的で、リレー記事方式で連携他市町の情報を掲載	平成30年12月号より隔月にて連携他市町の情報を「麒麟のまちインフォメーション」として、各市町の広報誌へ掲載。 【掲載内容】 イベントや事業への参加者募集、紹介など圏域住民の交流が深まるもの 【掲載済】 4月：鳥取市、6月：智頭町、8月：若桜町、10月：八頭町、12月：岩美町 【掲載予定】 2月：新温泉町、4月：香美町	D：計画どおり実施、もしくは実施見込み	掲載回数（回）	2	2	5	6
86	圏域全体のエリアプロモーション事業	圏域全体のCM作成等の、エリアプロモーション事業を行い、圏域ブランド周知・定着を図ることで、観光客誘致や移住定住の促進つなげる。	【観光・ジオパーク推進課】 ○効果的なエリアプロモーションの実施に向け、圏域全体の新たな観光販売戦略を策定するため、8月6日にセミナーを開催。その後各自治体・観光協会との意見交換会・ワークショップを3回開催し、12月に中核となる鳥取市版観光販売戦略を策定した。今後6町の戦略策定を進め、圏域全体へと拡げる予定。 ○ANA総合研究所と連携し、欧・米・豪に誘客層を絞った羽田-鳥取訪日外国人旅行者誘致事業（Odyssey JAPAN）を実施。圏域内の観光スポットを訪れる15の体験観光商品を開発。11月から在日外国人向けに販売開始。開発した観光商品をPRするYoutube動画広告を2月より掲載予定。 【政策企画課】 ○FMラジオ放送番組（放送後にYoutubeにて収録内容を配信）において、麒麟のまち圏域の魅力発信を行った。【第1回10月24日放送：岩美町、若桜町、八頭町、鳥取市、第2回放送10月31日：智頭町、香美町、新温泉町、鳥取市】 ○麒麟のまち魅力発信イベント「麒麟のまちHoliday Market」（12月19日）を実施。圏域各市町からの出店と、PRパネル展示、PRパンフレット配布による圏域の魅力発信を行った。 ○麒麟のまち圏域拠点PR事業として、市庁舎のライトアップと麒麟のまちのPRブースを設置し、各市町の魅力を発信した。 ○圏域の魅力再発見と情報発信を目的に麒麟のまちフォトコンテスト及び絵画コンクールを実施。2月以降に各市町1作品ずつ最優秀賞を決定する予定。	B：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	圏域への観光入込客数（人）	4,764,000	7,450,000	R2. 12月末見込み3,193千人 R2年度末見込み 4,257千人 ※R1実績値 6,580千人×前年比64.7% =4,257千人 (前年比はR元とR2の4～12月の入込実績を比較)	
87	合同職員研修事業	圏域内職員の資質・能力向上を目的に、合同で職員研修を実施する。また、各市町で実施する独自研修、講演会等の情報共有を図り、相互に職員の受け入れを可能とする体制をつくる。	令和2年度は、CS向上研修・OJT研修・接遇研修・新規採用職員研修・コンプライアンス研修を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から開催中止とした。	A：コロナ禍により中止、影響が大きい	圏域内全職員数に占める合同職員研修受講者割合（%）	23	25	0	0
88	職員交流検討事業	圏域内職員の行政マネジメント能力向上、専門分野の知識習得、情報共有のため、各市町の先進的な取組を学ぶ機会（勉強会等）を設ける等の人事交流の実施を検討する。	合同職員研修担当者会（職員交流検討会） 新型コロナウイルス感染症防止の観点から、5月と10月に書面での担当者会議を実施。圏域内の市町から研修の取組内容や合同研修への要望等について取りまとめ情報共有を図った。	C：コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	検討会議の開催（回）	0	1	2	2
89	麒麟のまち圏域地域おこし広域隊設置事業	<ul style="list-style-type: none"> ・麒麟のまち圏域全体を活動範囲とした「地域おこし協力隊」の設置。 ・各市町の地域おこし協力隊員とのネットワークを構築し、各市町の抱える諸問題に対応しつつ、圏域全体の活性化の取組などの強化を図る。（H30年度：導入検討、H31～1名導入） 	各市町の地域おこし協力隊とのネットワーク構築のため、情報交換会の実施を検討していたがコロナ禍の中実施できていない。 今後は、オンライン（ビデオ会議）などを活用して、まずは圏域内隊員のネットワーク構築と情報共有の促進を図っていきたい。	B：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	隊員による圏域の各種情報等の情報共有連絡会の開催回数（回）	0	4	0	0
90	公共施設点検研修の共同実施事業	圏域市町の施設管理担当職員を対象に、公共施設点検研修を実施する。	各自治体における建物点検、住民の安全確保に役立てていただくことを目的として、鳥取市の技術職員による『事務職員でも実施可能な建物点検についての実地研修』を実施 実施日：令和2年6月29日（2回）、30日（1回） 場 所：鳥取市人権交流プラザ、美穂地区公民館 参加者：29人（うち岩美町4人、新温泉町1人）	C：コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	公共施設点検研修の実施回数（回）	2	2	3	3